

第 1 号報告 : 2021 年度 活動報告

2021 年度 (2021 年 4 月 1 日 - 2022 年 3 月 31 日)

始めに

新型コロナウイルスの蔓延により、IPA の一部の活動に支障が生じた。しかし、この困難な状況の中で、IPA は学会の目的を推進するために、2021 年度の活動計画に沿って活動を遂行した。

本報告書は、「2022 年度 活動計画」と同じ形式で、大きく 5 つの常設委員会に区分して作成している。この形式により、IPA 会員の皆様が報告書と活動計画を比較し、理解しやすくなることを期待している。

1. 研究委員会

A) 技術委員会

a. 技術委員会 TC-4

テーマ: 圧入された鋼矢板および回転切削圧入杭の鉛直支持力特性と施工管理方法に関する技術委員会

活動内容:

- ・ 2019 年より 3 年間の研究活動を開始。本年度が最終年度であったが、1 年間の期間延長を申請し、研究委員会により承認。
- ・ ICPE2021 で口頭発表 6 件を実施。
- ・ 2020 年度の間接報告書を作成。
- ・ 最終報告書の作成に着手。

b. 技術委員会 TC-5

テーマ: オペレーターの技量と経験が圧入工法の施工性に及ぼす影響に関する技術委員会

活動内容:

- ・ 2020 年より 3 年間の研究活動を開始し、本年度は 2 年目。
- ・ ICPE2021 で口頭発表 1 件を実施。
- ・ 鋼矢板工法に関するアンケートを作成。
- ・ ワーキンググループ会議 8 回、全国圧入協会 (JPA) との合同会議 1 回を開催。
- ・ JPA 発刊の「圧入ジャーナル」にて活動を紹介。
- ・ 本年度の間接報告書を作成。

c. 技術委員会 TC-6 ※中国

テーマ：中国における圧入技術の実態調査と課題の抽出に関する技術委員会

活動内容：

- ・2021年から3年間の研究活動を開始し、本年度は初年度。
- ・市場調査用アンケートを作成し、調査を委託。
- ・ワーキンググループ会議3回を開催。
- ・本年度の中間報告書を作成。

B) ケースヒストリー

a. ケースヒストリーVol.2（圧入工法適用事例集）

Proceedings of ICPE 2021 の出版社から掲載許可を得て、候補となる論文を収集・分類。

b. 圧入工法に関するケースヒストリー募集

- ・ワーキンググループを設置。
- ・委員長：松本樹典 名誉教授（金沢大学）
- ・幹事：野崎恒延氏（IPA）
- ・Web ページにスキームをアップロードし、募集案内を配布。

C) 図書館機能（蔵書）

165冊（和書132冊、海外書籍33冊）を新たに配架し、計799冊となった。

D) 圧入工学セミナー

本年度の圧入工学セミナーのテーマの選定・講演内容の検討を行った結果、豪雨災害（斜面崩壊、浸水被害）をテーマとした基調講演（1～2件）、圧入施工事例（1件）とする予定である。

研究委員会では、研究活動の活動、ケースヒストリー・資料の収集、圧入技術の普及の3つの活動を中心に行う。

2. 事業委員会

A) Press-in Handbook（圧入ハンドブック）の多言語化

英語版、ロシア語版、タイ語版、ポルトガル語版、スペイン語版およびフランス語版が完成。さらにベトナム語版、ドイツ語版、およびアラビア語版の編集を並行して進めた。

B) 海外圧入技術セミナー

a. 中国

コロナ禍のため保留。

b. アジア、そのほかの地域

長引くコロナ禍のため、すべてのセミナーの予定が延期となったが、次年度に開催が可能となった場合は次回の開催地として台湾を候補地に採択した。

C) 圧入工法仕様書

背景・目的

世界の建設市場において、圧入工法の包括的な仕様書はまだ提供されていない。したがって、建設業界のプロジェクトの担当者向けに包括的な「圧入工法仕様書」を提供することは、建設プロジェクトにおいて圧入杭工法が容易に指定されるようにするために有利となる。

- ・ワーキンググループを設立
- ・委員長：検討中
- ・副委員長：野崎恒延氏（IPA）
- ・編集委員：日下部治氏、寺師昌明氏、Andrew McNamara 氏、Goh Teik Lim 氏、竹村次朗氏、石原行博氏（敬称略）
- ・本編の編集に着手

D) 他団体との継続的な交流

a. 中国

研究委員会の下で新しい技術委員会 TC6（中国における圧入技術の実態調査と課題の抽出）を設立。

b. 日本

- ・ JPA との合同セミナーを 2021 年 2 月に開催。今期は海外市場の活動に注力。
- ・ 圧入工法設計施工・指針 2020 年版（日本語）を改訂し、第 2 刷として発行。
- ・ JPA の法人会員が技術委員会 TC4 と TC5 において継続して活動。

E) ICPE2021

ICPE2021 を 6 月 19 日、20 日に開催し、19 か国から 430 名の参加者を迎え成功裏に終えた。IPA から ICPE2021 組織委員会に運営資金として 200 万円（当期単独では 100 万円）を拠出した。

次回の国際会議は 2024 年に ICPE2024 として開催することとし、シンガポールを開催地に決定した。手始めにイベント開催のためのアクションリストを作成した。

3. 広報委員会

A) IPA ニュースレターの定期配信

IPA ニュースレターの3ヶ月ごとの定期配信は、2021 年度も以下のように継続した。

- ・ Vol.6, No.2 2021 年 6 月 : 29 ページ
- ・ Vol.6, No.3 2021 年 9 月 : 35 ページ
- ・ Vol.6, No.4 2021 年 12 月 : 25 ページ
- ・ Vol.7, No.1 2022 年 2 月 : 65 ページ

2021 年(暦年)発刊の計 4 件 (Vol.6, No.1 から No.4) の IPA ニュースレターを集約した合冊版 (第 5 版) を 2022 年 3 月に発刊。

編集委員会では、委員間の情報共有や意見交換のために、2021 度から定期的に会議を開催することとし、今年度は計 4 回のミーティングを行った。

B) IPA ブックレット 1 : 圧入機「サイレントパイラー」開発略史の発刊

本ブックレットでは、半世紀にわたる圧入機の機械工学的側面からみた開発史と、高精度な圧入杭施工のためのデータ収集・処理に関する最近の開発状況を紹介。日本語版と英語版で 2022 年 2 月に発刊した。本冊子の発行は、IPA の創立 15 周年記念事業の一環である。

4. 表彰委員会

ICPE2021 の開催に際し、表彰委員会の選考により、以下の賞が授与された。

- ・ Outstanding Project Award (傑出した建設プロジェクトの表彰)
プロジェクト 2 件、企業 4 社、個人 3 名
- ・ Innovative Technology Award (革新的な技術開発に対する表彰)
論文 2 件、企業 4 社、個人 2 名
- ・ Distinguished Research Award (顕著な研究成果に対する表彰)
論文 2 件、個人 8 名
- ・ Life-long Contribution Award (多年にわたる貢献に対する顕彰)
1 名
- ・ The ICPE Best Paper Award (ICPE 優秀論文の表彰)
論文 5 件、個人 20 名

5. 総務委員会

A) IPA 活動の活性化に向けた新理事及び次世代を担う人材の登用

IPA 活動の更なる多様化に向け、地域性を勘案した人選を継続した結果、本年度はトルコから新たな理事を選出。加えて、指名委員会において次世代を担う若手を含む理事候補者リストを作成し、2022 年度の総会において決議するべく準備を進めた。

B) IPA の現地事務局体制確立によるグローバル展開

C) 経済的自立が可能な学会運営の検討

経済的自立による学会運営を継続目標とし、今年度は「第二回 圧入工学に関する国際会議 (ICPE2021)」が独立採算により開催された。

D) 圧入工学に関する専門書及び論文の編集等への若手研究者及び技術者参画の促進

ICPE2021 の開催を通じて、数多くの若手研究者及び技術者が編集等の活動に参画した。

E) 実装可能技術のための研究活動を全国圧入協会 (JPA) との合同で推進

当初の計画通り、本年度は主に技術委員会 TC-4・TC-5 の研究活動を JPA と合同で推進した。

6. その他

A) IPA 通常総会

2021 年 5 月 24 日-28 日の 5 日間に渡り開催。2021-2022 年度の理事改選、2020 年度の活動報告及び収支報告、2021 年度の活動計画及び予算案が承認された。

B) IPA 理事会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今年度の理事会はいずれもオンライン形式または E メールでの開催を余儀なくされた。2021 年 6 月 11 日には今年度 1 回目となる理事会をオンライン形式 (Zoom) により開催し、計 24 名の理事と監事 1 名が出席。IPA 副会長、各常設委員会の委員長及び事務局長の人事案が満場一致で可決。

2021 年 11 月 2 日-6 日の 5 日間に渡り、E メール形式での理事会を開催し、計 26 名の理事と監事 1 名が出席。次回 ICPE の開催地及び開催時期、そして指名委員会及び運営委員会の招集の提案が満場一致で可決。

2022 年 3 月 22 日-25 日の 4 日間に渡り、二回目となる E メール形式による理事会を開催し、23 名の理事と監事 2 名が出席。新任理事及び監事の選任、2022 年度の活動計画及び予算案が満場一致で可決。

C) 運営委員会

IPA 会長、各常設委員会の委員長、専務理事及び事務局長からなる運営委員会を招集。2021 年 12 月 2 日及び 2022 年 2 月 22 日の計 2 回、オンライン形式により開催し、その後開催を予定している理事会及び IPA 総会の議題となる、2021 年度の活動報告及び 2022 年度の活動計画を主な議案として協議した。

D) 会員数

2022年3月末（2021年度末）時点での会員数

正会員	711	昨年同期	680名	(+31)
学生会員	76	昨年同期	61名	(+15名)
法人会員	53	昨年同期	54社	(-1社)

第2号報告：2021年度収支計算書

収支計算書 2021年度 (2021.4.1 - 2022.3.31)

(単位: 円)

項目	2021年度予算	2021年度収支	備考
事業活動収支			
1 事業活動収入の部			
① 会費収入			
個人正会員年会費	7,000,000	7,150,000	
法人会員年会費	7,100,000	7,300,000	
② 寄付金収入			
寄付金	16,000,000	16,000,000	
③ その他収入			
研究受託費	235,000	0	
書籍販売	4,500,000	5,569,500	圧入設計・施工指針 2020年版 等
雑収入	10,000	4,206	
事業活動収入計	34,845,000	36,023,706	
2 事業活動支出の部			
① 会議・セミナー関係			
第2回 国際会議 ICPE2021(2021.6 開催予定)	1,000,000	1,000,000	ICPE2021組織委員会への開催補助費用
海外セミナー(Handbook)	1,200,000	0	準備・開催費(台湾、インドネシア、中国を予定)
② 出版関係			
圧入工法設計・施工指針 改訂(2020年版)	3,000,000	4,147,331	増刷費
Press-in Handbook(英) 改訂(2020年版)	3,050,000	1,918,261	編集・印刷費
Press-in Handbook(他)	2,500,000	7,255,123	翻訳・監修(仏語・露語・ポルトガル語・スペイン語・タイ語)
Case History Volume 2	500,000	77,001	編集費等
IPA Newsletter	1,000,000	711,344	合冊版 No.5
サイレントバイラーの歴史	600,000	734,800	編集・印刷費
その他(ICPE2021論文集 他)	1,200,000	1,155,000	ICPE2021論文集買取費用
③ 研究関連			
理事会・運営委員会活動費	5,100,000	0	理事会／運営委員会の開催等
研究委員会(技術委員会)活動費	1,000,000	1,000,000	技術委員会TC1, TC3, TC4, TC5および新規研究活動
表彰関係	100,000	125,840	表彰盾・賞状等(3部門)
図書館機能	2,400,000	1,253,221	書籍購入、図書館システムの保守等
その他(調査・他学会参加費)	1,300,000	0	現場取材費、他学会参加費
④ 管理関連			
15周年記念式典	1,000,000	363,000	15周年記念誌出版費 ※式典の開催実績無し
情報システム関連費	2,090,000	1,666,698	ウェブサイト・メールサーバー維持管理費用等
会員管理	20,000	0	会員証発行等
印刷費用(書籍関連除く)	30,000	60,026	挨拶状、封筒等
郵送費(国内外)	500,000	241,925	
通信費	100,000	95,529	電話代
理事報酬	10,860,000	10,968,810	
賃借料	3,460,000	3,284,324	事務所家賃・複合機の賃借料等
契約外注費	1,710,000	1,641,204	税理士報酬等
支払手数料	280,000	384,382	銀行手数料等
事務用品費	150,000	204,940	
雑費	210,000	299,183	
事業活動支出計	44,360,000	38,587,942	
事業活動収支差額	(9,515,000)	(2,564,236)	
前期繰越収支差額	14,493,324	14,493,324	
当期収支差額	(9,515,000)	(2,564,236)	
過年度繰越収支差額修正額		553,728	過年度の会計処理の修正に伴う修正額 ※注記1)を参照
次期繰越収支差額	4,978,324	12,482,816	

注記1) 過年度繰越収支差額に係る調整について

過年度繰越収支差額調整額は、2017年度及び左記年度以前における会計処理が一部不適切であったことによる帳簿上の繰越金と現預金ベースの残高の差額を、実態に合わせて修正するものです。

注記2) 第2回 国際会議 ICPE2021(2021.06)の収支報告について

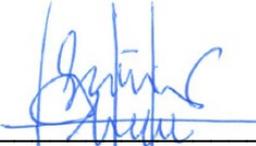
参考資料として ICPE 2021 の収支計算書を添付(1/3 ページ目)しています。

資料名:【補足資料】収支計算書 - 第二回 圧入工学に関する国際会議(ICPE 2021)

In our opinion, the above statement of accounts is presented fairly in all material respects.

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

Date: 9 May, 2022,

Auditor 
Dr. Goh Teik Lim

Auditor 
Mr. Yoshihisa Fujisaki

【補足資料】収支計算書 - 第二回 圧入工学に関する国際会議 (ICPE 2021)

参加者総数: 430名 (計19か国)

(単位: 円)

項 目	金額(実績)	備 考
1 収入の部		
① 参加登録料	4,745,800	参加登録料、論文掲載料
② 協賛金	1,650,000	広告、ブース出展費(11団体)、
③ 助成金	1,500,000	前田記念財団/鹿島学術振興財団(計2団体)
④ 販売収入	1,500,000	ICPE2021論文集
⑤ 雑収入	2,000,000	IPAIによる拠出金
収入の部 計	11,395,800	
2 支出の部		
① 印刷費・発送費	1,315,923	ICPE2021論文集(冊子版)
② 準備会合費	875,775	組織委員会・学術部会(交通費、会場費等)
③ 国際会議費用	8,314,785	オンライン会議関連費、同時通訳費、会場費、謝礼金、その他経費
④ 雑費	593,380	論文等校閲費用、銀行手数料 等
支出の部 計	11,099,863	
収支差額	295,937	
ICPE2018繰越金	98,291	
繰越収支差額累計	394,228	次回ICPEへの繰越金